

JCBA

No.188 Jan. 2025

Japan Customs Brokers Association



CONTENTS

- 2 新年のご挨拶（会長）
- 4 新年のご挨拶（関税局長）
- 6 中国通関業会との相互協力のMOUを締結
- 7 令和6年度通関士部会・事務局合同会議の開催
- 8 連合会とNACCSセンター共催によるダイバシティ講演会
- 35 長崎通関士部会分科会（九州STARS）の活動開始
- 36 函館通関業会女性通関士委員会
- 39 密輸撲滅キャンペーン
- 48 通関業会だより（東京通関業会）
- 51 東京通関業会羽田支部と長崎通関業会通関士部会との意見交換会
- 52 第58回通関士試験 合格体験記
- 57 各通関業会業務報告

新年のご挨拶



(一社)日本通関業連合会 会長

岡藤 正策

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ご家族ともども清々しい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年9月、当連合会の前会長で相談役の鈴木 宏様をご逝去されました。皆さんご存じのとおり、鈴木前会長は連合会会長を5期10年の長きにわたり努められ、その間、女性通関士支援事業や「通関業の日」記念日の創設など通関業、通関士の認知度向上に貢献されました。中でも、「輸出入申告官署の自由化」の検討に当たり率先して業界の意見取りまとめ、関税当局との調整を行うなど、強いリーダーシップを発揮されました。このような輝かしい功績が認められ、平成28年秋の叙勲で旭日中綬章を受章されたほか、昨年、内閣総理大臣から従五位が叙されました。

改めて、ご冥福をお祈りします。

昨年は国内外で大事な選挙が行われました。

政権交代やトップ交代が行われた国がありましたが、米国大統領選では「米国第一主義」をスローガ

ンに掲げたトランプ氏が返り咲きを果たすなど、民主主義の在り方が問われた一年でもありました。

トランプ次期大統領は、米国への輸入品に10～20%の関税を、また中国には60%の追加関税をかけることを公約に掲げて当選しました。我々貿易を生業とする者にとっては、トランプ劇場2.0の始まりを受け、警戒を感じている人も多いかと思います。コロナ化で進めたサプライチェーンの強靱化を、更に一段高めることも必要になるかもしれません。いずれにしても、情報の収集と的確な対応が求められるものと考えます。

また昨年は、コロナ禍の際には出来なかった各地区通関業会を訪問させていただき、役員の方々並びに会員の皆様と直接会話をし、現場の生の声を聴かせてもらいました。皆さんとの意見交換を通じて、各地区の特徴や違いなど、多くの気付きを得ることが出来ました。今後の活動に活かしてまいりたいと思っています。

デジタル技術の飛躍的な進展により、コミュニケーションの方法も多様化する傾向にありますが、改めて直接による意見交換、対面での議論に勝るも

のではないと感じた次第です。今後とも、タイミングの許す限り、このような意見交換の機会を作って参りたいと考えておりますので、その際はどうかよろしく願いいたします。

さて、本年は3月25日から28日までの間、国立京都国際会館において「IFCBA2025京都世界会議」を開催する予定です。期間中、IFCBA（国際通関業連合会）の総会・理事会のほか、御厨世界税関機構（WCO）前事務総局長による基調講演やパネルディスカッションなど多彩なメニューを用意しておりますので大いに期待していただきたいと思えます。会議には、IFCBA加盟の23か国から各国の通関業会会長や会員の皆様など、多数の参加が見込まれています。

実は、IFCBA総会・理事会を2011年に東京で開催することが決まっておりましたが、折からの東日本大震災の発生により中止となりましたので、満を持しての開催ということになります。一人でも多くの会員、関係者の参加を得て、是非とも成功させたいと思っておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

本年2月には、財務省関税局、日本関税協会、NACCSセンター及び横浜通関業会との共催で「学生フォーラム」を横浜で開催する予定です。既に多くの学生にエントリーをいただいているところですが、昨年にも増して素晴らしい研究発表を期待したいと思えます。

その他、私が会長に就任以来、重点施策として力を注いでまいりました通関業界におけるダイバーシティ推進の支援、通関士の専門性向上及び新たな認定制度の導入、通関業・通関士の認知度向上についても、引き続き成果を求めて取り組んでまいります。

今年の干支は「蛇」です。蛇は古くから豊穰や繁栄の象徴と崇められていて、蛇の脱皮は再生と繁栄を意味し、新たな始まりを象徴していると言われておりますので、国際会議の開催や重点事業の推進にとっても恰好の年と言えるのではないかと考えているところです。

最後になりましたが、今年も皆さんと共に、健康で充実した1年を過ごせることを祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



関税局長
高村 泰夫

令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のお祝いを申し上げます。

一般社団法人日本通関業連合会及び会員の皆様には、旧年中は関税政策・税関行政に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年が皆様にとりましてより良い一年となりますよう、心からお祈りいたします。

新年のご挨拶にあたり、財務省関税局・税関の主な取組みについて申し上げます。

越境電子商取引（EC）の拡大による輸入貨物の急増や、経済社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）の急速な進展、経済安全保障上の脅威の高まりなど、関税局・税関及び通関業界を取り巻く環境は大きく変化しています。

そのような中であって、関税局・税関が3つの使命である「安全・安心な社会の実現」、「適正かつ公平な関税等の徴収」、「貿易の円滑化」を果たしていくことは、国際物流関係者の利便性向上、日本の国際競争力の強化、日本経済の持続的発展と成長に繋がるものであると考えております。

そのため、国際物流に関わる貴連合会及び会員の皆様と課題を共有し、協力して解決に取り組むことが重要であると感じております。

近年の輸入貨物の増加は著しく、不正薬物や知的財産侵害物品の密輸が多数摘発されています。税関における不正薬物の押収量は8年連続で1トンを超え、令和5年の押収量は過去2番目（約2.4トン）を記録しています。この点、各地区通関業会におかれましては、税関と合同で「密輸撲滅キャンペーン」を実施するなど、日頃から水際対策にご協力いただき、感謝申し上げます。また、金価格の高騰等を受け、足元で金密輸の摘発件数・押収量も急激に増加しているため、税関における金密輸の水際取締りをより一層強化しております。

輸入貨物については、航空貨物のみでなく海上貨物も増加しており、海上貨物の輸入申告件数は直近5年間で約2.3倍となっております。そのため、海上小口貨物（少額免税の対象となる通販貨物である等の一定の要件を満たすもの）については、申告項目の一部の省略を認める簡易な輸入通関手続を本年10月から導入する予定としております。

適正かつ迅速な輸入通関を実現するためには、貴連合会及び会員の皆様との緊密な連携が引き続き不可欠です。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

次に、経済活性化のための保税地域の活用についてご紹介します。近年の輸入貨物の急増や物流業界の人手不足、港湾・空港分野における国際競争の激化等、保税制度を取り巻く国際物流の動向が大きく変化する中で、保税業務における手続きの簡素化をはじめ、保税制度に対するニーズや課題に関する様々な声が寄せられています。加えて、保税地域におけるアートフェア等の開催をはじめ、制度の新たな活用事例も登場しています。

こうした状況を踏まえ、厳格な水際取締りの水準を維持しつつ、多様なニーズに応え、貿易の円滑化を図るため、昨年6月に「国際物流の動向を踏まえた保税制度のあり方について」をとりまとめました。

通関業者の皆様の中には倉庫業を営んでいる方もいらっしゃるかと思います。また、通関手続と保税地域は切り離せないものであると考えておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

国際的な動きに目を向けますと、日本の貿易総額に占めるEPA・FTA等発効済・署名済国との貿易額の割合は約8割となっております。現在、バングラデシュ、アラブ首長国連邦（UAE）、湾岸協力理事会（GCC）とのEPA交渉が進んでおり、新たなEPA締結に向けた動きも活発です。また、既存のEPA・FTA等では、CPTPPに関して令和5年7月、英国及び参加国により英国加入議定書に署名がなされ、本議定書の発効に向けて各国で必要な国内手続が進められてきましたが、令和7年1月1日時点で、国内手続完了の旨を通報した英国を含む10か国で

発効しております。

EPA・FTA等が進展を続ける中、関税局では輸入だけでなく輸出も含めたEPA・FTA等利活用の更なる促進に努めております。EPA・FTA等の生み出す経済上のメリットを国民が享受できるようにするためには、通関手続に関する専門的知識を有する通関業者・通関士の存在が非常に重要だと感じております。このEPA・FTA等利用促進という観点から、通関業界がこれまで以上に活性化し、通関業に携わる皆様が益々ご活躍されることを期待しております。

また、本年3月には国際通関業連合会（IFCBA）の京都世界会議が開催されると承知しております。関税局・税関としても、引き続き、支援を行うとともに、会議の成功を心より願っております。

加えて、来月に横浜税関で開催する第3回「国際物流と貿易の未来を考える「学生フォーラム」」については、関税局とともに準備を進めていただいております。本年は貴連合会と横浜通関業会にご尽力いただいております。開催のためのご支援について、この場をお借りして感謝申し上げます。

税関や通関業界を取り巻く環境は、急速に変化しておりますが、貴連合会及び会員の皆様が関税局・税関にとって重要なパートナーであることは不変であり、同じ国際物流に携わる身として、日本経済の発展に貢献していければと考えております。今後も税関の3つの使命を果たすべく、貴連合会及び会員の皆様からお寄せいただく声に耳を傾け、関税政策・税関行政を運営してまいります。

最後に、貴連合会及び会員の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



日本通関業連合会と中国通関業会が 相互協力のMOUを締結

2024年11月7日（木）、一般社団法人日本通関業連合会の岡藤正策会長は上海を訪問し、中国通関業会の白凤川会長との間で相互協力に関するMOU（Memorandum of Understanding：覚書）を締結しました。

このMOUは、両国の通関業とその関連分野の発展に寄与するために結ばれたもので、情報交換、教育・研修への講師の相互派遣、国際会議での協力の3本の柱で構成されています。

本覚書を通じて、日本と中国の通関業会がより一層の協力を深め、通関手続きの円滑化や関係分野の発展に寄与することが期待されます。

岡藤会長は、第7回中国国際輸入博覧会期間中に開催された第3回貿易円滑化国際フォーラムにも招待されており、この機会を利用して2025年に京都で開催されるIFCBA世界会議のプロモーションも行いました。



MOU(覚書)



令和6年度

通関士部会・事務局合同会議の開催

(一社)日本通関業連合会は、11月7日(木)午後から翌10日(金)にかけて、KKRホテル東京に於いて「令和6年度通関士部会・事務局合同会議」を開催しました。

会議には、日本通関業連合会通関士部会委員及び各通関業会の専務理事、事務局長など39名の参加を得て、活発な意見交換が行われました。

7日には、議題「認定アドバイザー(仮)制度の導入提案について」では、EPA利用促進の取組について財務省関税局経済連携室の香川室長及び旭化成株式会社の田中様より、説明あったのち、認定アドバイザー(仮)制度の導入及び制度設計について活発な意見交換が行われました。

8日は、輸出入・港湾関連情報処理センター株式

会社システム企画部企画課の東野 洋司課長補佐より、本年10月に更改を予定している第7次NACCSについて、通関業務に関連する事項を中心とした内容を講義頂きました。

続いて、日本電気株式会社スマートILM統括部の須賀 宏平氏より「通関業務デジタル化セミナー」と題した、生成AIを活用し、HSコードの判定を支援するツールの開発の取組みや多くの貿易関係書類から、輸出入申告に係る多くの工程について、AI-OCRと関税計算書システムを組み合わせ通関業務をトータルサポートするシステムの紹介がありました。

いずれも、参加者にとって大変興味深く、有意義なものでありました。



日本通関業連合会とNACCSセンターの共催による 「女性活躍とダイバーシティに係る講演会」の開催

～女性の働きやすさが全てのひとの働きやすさに～

令和6年12月6日（金）、味覚糖UHA館TKP浜松町カンファレンスセンターにおいて日本通関業連合会とNACCSセンターの共催による「女性活躍とダイバーシティに係る講演会」をオンライン配信のハイブリッド型で開催しました。

講演会の開催にあたり、NACCSの平松社長より、女性活躍に関する取組みを報告し、性別に関係なく働ける環境を目指しつつ、次長級以上の女性社員が少ないことが課題。将来のNACCSをリードする人材の形成が重要と挨拶された。

講師に迎えたのは、大橋運輸(株)（愛知県瀬戸市）の代表取締役社長 鍋嶋洋行氏で、大橋運輸(株)はダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進に取組み、令和3年には経済産業省より『新・ダイバーシティ経営企業100選プライム』を受賞されています。

今回は、「採用強化はダイバーシティ経営・健康経営から」のテーマで、労働人口の減少を背景に職員の採用がこれからの経営課題と位置づけ講演頂きました。

とりわけダイバーシティ経営に関しては、会社全体で継続的に取組むべきとし、人的余裕のない会社ほど大切。女性活躍はダイバーシティ推進の基盤であり、短時間勤務であっても適切評価する仕組みが重要。ブランディング向上など新しい取り組みや会議・委員会に女性を参画・参加することが効果的で、女性活躍だけでなく男性活躍とともに進めることで

より機能すると述べられた。

このほかにも採用力を強化する取組みとして、ES（従業員満足度）を向上させる木目細かで充実したサポートの実例。下請けだけに依存しない新たなサービスを開拓するビジネスモデル。12年前のオオサンショウウオ保護の河川清掃を機に、子供から高齢者を対象とした地域貢献活動の広がりの紹介がありました。

当日のプレゼン資料からも、思いやりとアイデアが織りなす活気ある職場が伺えますので、是非ご覧ください。

講演の後、日本通関業連合会の岡藤会長から、ダイバーシティ推進の取組みを紹介後、機会あるたび各通関業会を訪問しその重要性を訴えている現状を説明。講義を振り返り、鍋嶋社長の「すべての人に無限の可能性がある」の言葉に共感したとあいさつし、講演会を総括した。



採用強化は ダイバーシティ経営・健康経営から



設 立 : 昭和29年3月17日
所 在 地 : 愛知県瀬戸市西松山町2-260
資 本 金 : 3,000万円
従 業 員 数 : 99名
保 有 車 両 : 52台
(小型9台 中型11台 大型32台)
営 業 所 : 本社・篠原営業所



取扱サービス : 自動車部品輸送
生前整理・遺品整理
引越し・片付け・荷物保管





企業理念

仕事を通じてお客様や地域に貢献する

人事理念

社員をはぐくみ
付加価値を提供できる人財を蓄える

健康経営理念

現役時代に良い健康習慣を身につけ
定年後も健康に暮らす



地域活動の広がり

環境

- ・オオサンショウウオ保護の川清掃(2012年6月～)



安全

- ・幼稚園笑顔イベント(2017年2月～)
- ・小学校交通安全教室(2018年6月～)



福祉

- ・特殊詐欺なくし隊(2021年3月～)
- ・人生会議セミナー(2021年11月～)



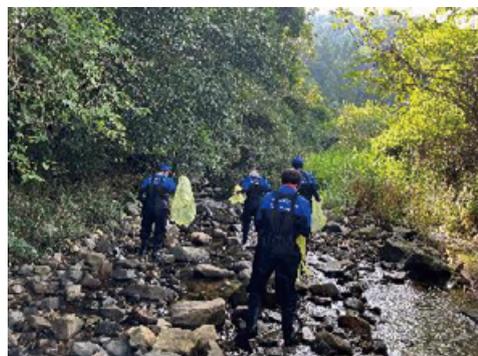
健康

- ・地域セミナー(2016年6月～)
- ・おはなし広場(2020年11月～)
- ・運動教室(2021年8月～)



オオサンショウウオ生息地川清掃

- 水の汚濁やゴミの多さを解決すべく
2012年から
瀬戸市蛇ヶ洞川川清掃を開始
- 国の特別天然記念物オオサンショウウオ
- 瀬戸のオオサンショウウオが
日本で一番痩せこけていると聞き、
生息地の川を訪問
- 地元の保護団体や
行政、地域の方と活動
- 5年目頃から水の水質も良くなり
小魚や自然繁殖も見られる



2月5日ニコニコ笑顔の日

- 2017年より笑顔に日イベント実施
- 1日笑う回数は子どもは400回、大人は15回、
- 地域の幼稚園の子どもに、
笑顔描いてもらって、地域の高齢者に配布
- 笑顔の輪を地域に広げる
- お礼で幼稚園の子ども達に
クラウンショーをプレゼント
- 安全と食育は小さい時からの習慣が大切



子ども交通安全教室

- 毎年夏休み前頃（2018年～）
- 瀬戸警察署とプレジャー企画様と連携
- 小学校低学年の皆様に、
死角に気を付けることを伝える
- 生徒にトラックへ乗車・接近し
運転手との目線の違いを体感してもらう
- 安全と食育のミニ講座を実施



7

特殊詐欺なくし隊

- 2021年3月8日から
- 瀬戸警察署と守山警察署と連携。
民間10社と協力
- チラシを瀬戸市役所・地域包括センター・
民選議員など幅広く配布。累計10万部
- 特殊詐欺被害の削減には、
地域と家族のコミュニケーションが大切
- 市役所に等身大パネル設置
- 電子マネーカードのダミーカードで啓発



8

人生会議にむけて

- 2021年より11月30日は人生会議の日
- もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する日
- 人生100年時代楽しく生きるコツや高齢者にお役たち情報を提供
- 地元公立病院とも連携
- オリジナルのエンディングノートを作成
瀬戸市・尾張旭市でのべ8000部配布中



地域健康セミナー

- 2016年6月より実施
- 健康寿命をのばすための健康、防災、整理整頓などのセミナーを実施
- 有資格の社員が担当、モチベーション・スキルアップに繋がる
- 高齢者から大学生、幼稚園まで幅広い年齢層に必要な情報をお届け
- 出前講座で地域全体に情報をお届け
年15回以上実施



幼稚園



小学校



中学校



大学



一般市民向け



敬老の日

8月4日 栄養の日

- 2022年8月より実施
- 8月4日栄養の日に合わせて、瀬戸市・社会福祉協議会・大橋運輸の官民連携でセミナーを開催
- 地域医師会長でまちの病院長の先生・市役所の管理栄養士・弊社管理栄養士より、栄養・健康のお話を実施
- 参加者は2022年は50名、2023年は70名、2024年は100名予定。
- 後援：一般社団法人瀬戸旭医師会、瀬戸警察署、瀬戸交通安全協会



おはなし広場（よろどころ）

- 2020年11月より実施
- 社員への健康サポートで蓄えたノウハウを地域の皆様に役立てたいと、地域の「健康寿命を延ばす」取り組みとして開始
- 社内外の各専門家によるミニ講和＆相談、レクリエーションを週代わりに実施。
- 地域の「よろどころ」として、社会福祉協議会から認定
- 9月現在、全175回のべ630名参加。



地域運動教室

- 2021年8月より実施。社内の健康経営を地域の健康寿命を延ばす活動へ
- 地域の皆さんの筋肉量維持・増進を目的とし、バランスボール体験・健康太極拳体験ヨガ体験のプログラムを毎月実施
- 地域のコミュニティの場の提供
- 地域パートナーシップ事業者認定（民間企業初）
- 9月現在、全130回のべ4561名が参加。



三者協定

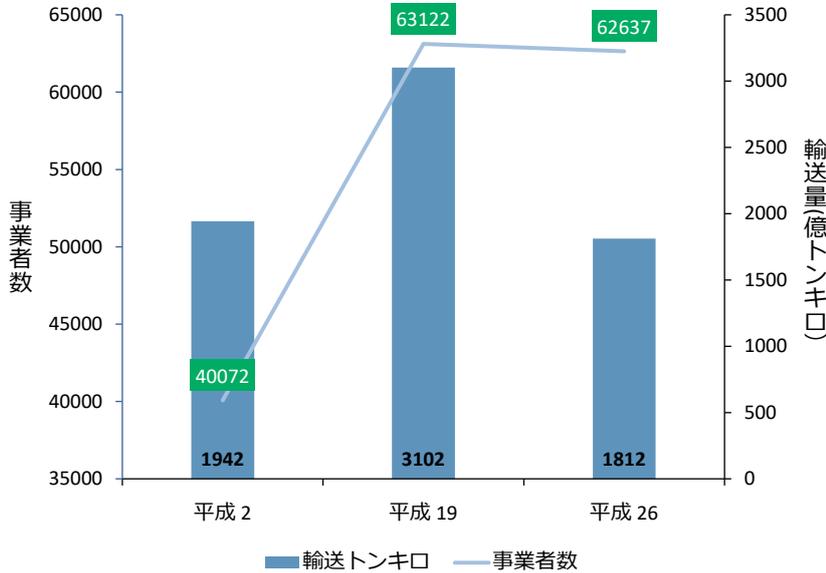
- 瀬戸市・社会福祉協議会・大橋運輸（株）
- 2023年8月25日 締結
- 人生100年時代に向けた健康寿命の延伸に寄与する地域の健康活動を連携、協力して実施
- 高齢者の健康づくりや、介護予防アドバンス・ケア・プランニングにおいて連携し取り組んでいく





運輸業界背景

事業者数と輸送量の推移



※出典：全日本トラック協会
「トラック輸送データ集2022」 [データ集2022.indb \(ita.or.jp\)](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2012/zenbun/s1_1_1_02.html)

平成2年の 規制緩和



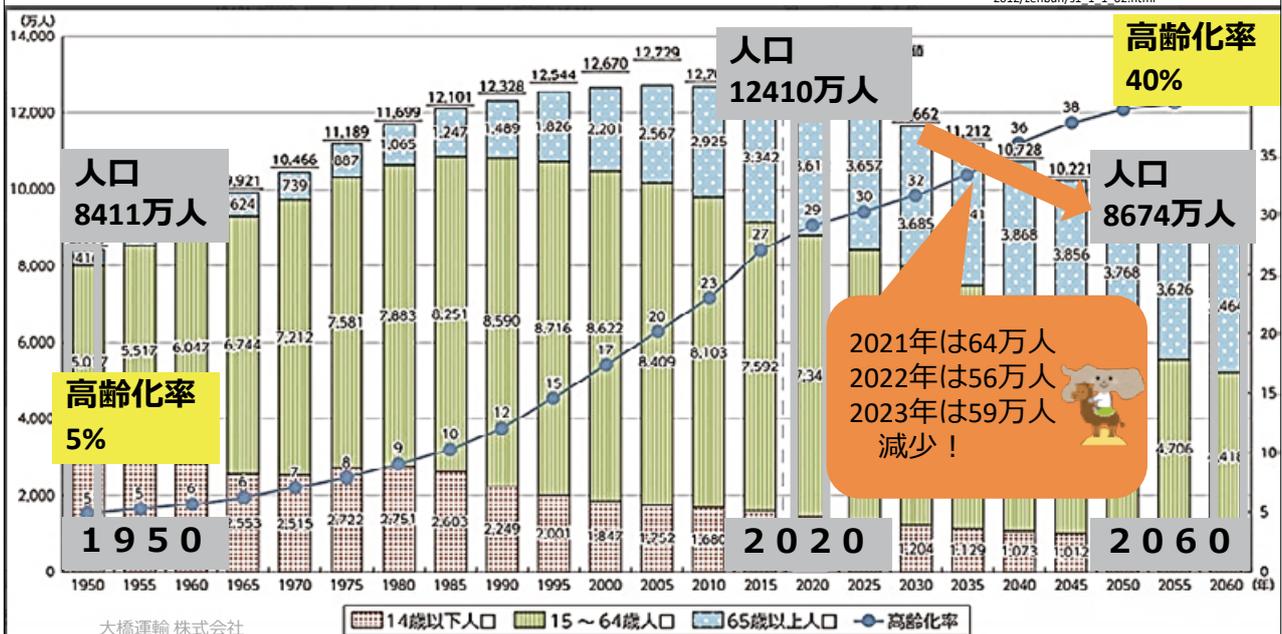
事業者 増 ↑
輸送量 減 ↓



日本経済のこれから

少子高齢化に直面！

出典：内閣府第1章 第1節 1
(2) 将来推計人口でみる50年後の日本
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2012/zenbun/s1_1_1_02.html



大橋運輸 株式会社

採用がこれからの経営課題に



- 労働人口減少
- 付加価値向上
- 2030年までに労働人口はおよそ500万人減少する、という統計データ



画像出典：<https://schoo.jp/biz/column/1356>

17

採用力強化



ダイバーシティ



ES(社員満足向上)

福利厚生 成長支援
健康経営



ビジネスモデル



地域活動

18



採用力強化



ダイバーシティ



ES(社員満足向上)

福利厚生 成長支援
健康経営



ビジネスモデル



地域活動

19



女性活躍の推進



勤務体系の整備

週3勤務から

1日4時間から

午前から、午後から、など入社時間の変更



幅広い職種に起用

営業・安全・健康・企画・運行・事務

幅広い分野で2割の女性が活躍



20



職場環境・事業付加価値 向上にむけて



サービス担当



精神保健福祉士



ユーモア担当



ES推進



管理栄養士



ダイバーシティ担当



女性の働きやすさが 全ての人の働きやすさに



業務時間内の
運動機会



1年中
がんばらない
制度



個々に合った
勤務時間

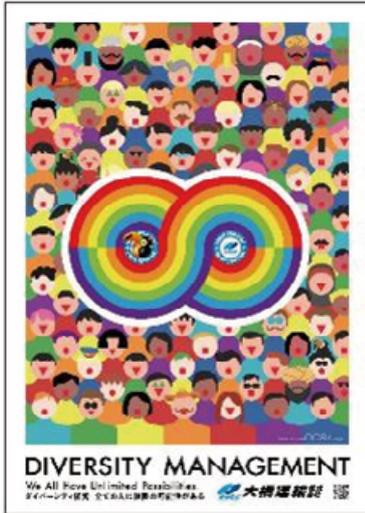




ダイバーシティ経営



多様な人材の能力を活かし、価値創造につなげる



- 女性 約 2 割
- 高齢者 約 1 割
- 外国人 約 1 割(4か国)
- チャレンジド . . . 4.9%(雇用率)
(障がいをもつ人)
- L G B T Q 複数の部署で活躍

2024・6 現在

クエスチョニング
トランスジェンダー
バイセクシャル
ゲイ
レスビアン



外国人採用

- ・ 海外メンバーは
4か国 9名
(フィリピン・中国・台湾・ネパール)
直接雇用、永住者、帰化



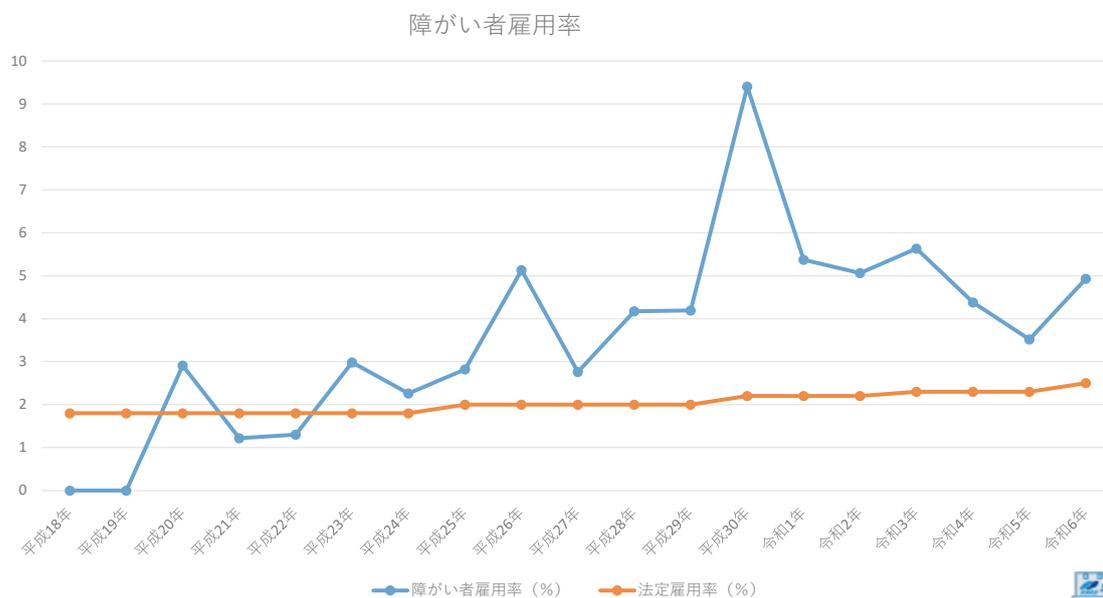
- ・ 日本語・通訳サポートと
小まめな面談



- ・ 里帰り費用の補助



障がい者雇用率の推移



障害特性と個人特性

・身体、知的、精神障害の方を雇用

・「障害」か「性格」か

- できるのにやらない
- やろうと努力しない
- できないのか

判断の難しさ





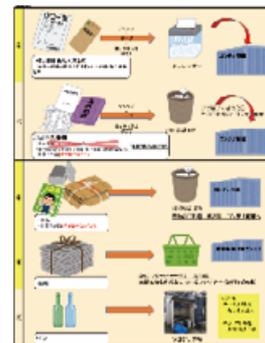
新たな仕事を考える



27



チームワーク・改善



- 朝礼で毎日今日の天気を共有
- 誕生日も必ず教えてくれるムードメーカー

- できないところではなくできるところに目を向ける
- チーム採用

- チーム採用のやりやすさが、全ての人に役に立つ
- 改善の風土

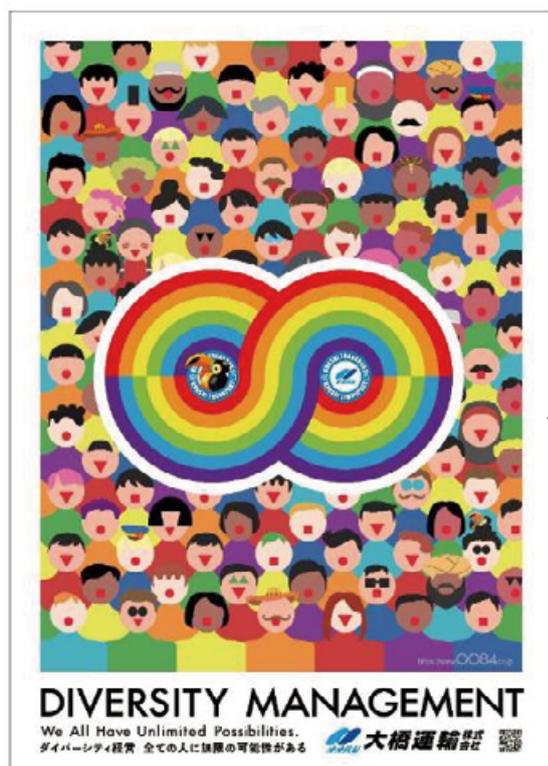
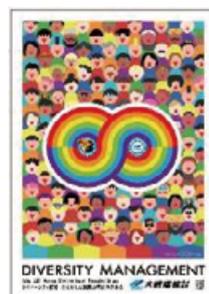


28



LGBTQの取り組み（全体）

- ・履歴書に性別記入欄なし、通称名の使用可
- ・パートナー証明書の発行
- ・配偶者だけでなく、パートナーを認め
福利厚生使用が可能
- ・就業規則に
多様性を受け入れる項目を入れる
- ・ホルモン治療にも対応できる勤務体系
- ・誰でもトイレ、制服の選択
- ・社内研修あり(入社時、入社後も)
LGBTQイベントに参加



ダイバーシティ経営
全ての人に無限の可能性がある





採用力強化



ダイバーシティ



ES(社員満足向上)

福利厚生 成長支援
健康経営



ビジネスモデル



地域活動



安全から安全衛生の時代へ



事故原因に
生活習慣病などの
健康起因事故が
増える

- 1.禁煙
- 2.食育
- 3.運動
- 4.8020運動
- 5.睡眠
- 6.働き方
- 7.アルコール
- 8.メンタルヘルス



「良い習慣」のための健康経営

取り組み

1. 禁煙
2. 食育
3. 運動
4. 8020運動
5. 睡眠
6. 働き方
7. アルコール
8. メンタルヘルス

発信

管理栄養士



面談



社内報



ミーティング



LINE



4コマ漫画



禁煙

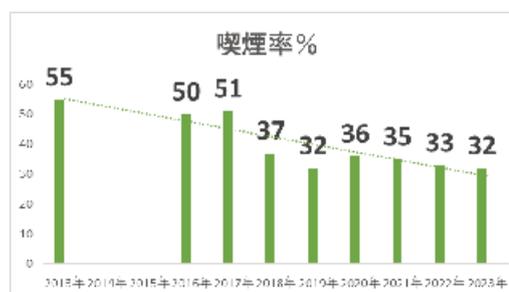
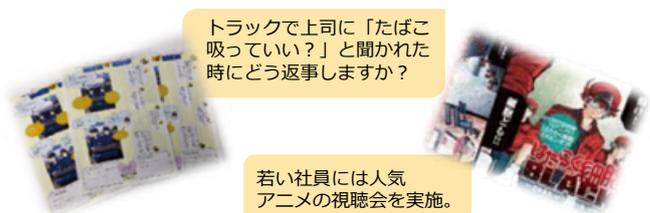
禁煙サポート制度

禁煙チャレンジを宣言した社員が禁煙外来を利用する場合、受診料の補助が受けられるほか、禁煙中の社員には経過時期に応じたアドバイスと応援のメッセージが送られます。禁煙成功の場合は健康手当も支給しています。



考える、気づく取り組み

喫煙者自ら喫煙と健康について考える機会を提供しました。



2025年より「禁煙者採用」宣言

2021年5月世界禁煙デーに2025年より「禁煙者採用」を宣言しています。既存の喫煙者にも禁煙への取り組みを強化。現在は国立がん研究センターと連携して対策を進めています。



食育

旬産旬消

生産者と直接契約し、美味しくて栄養価が高い安心安全な旬の食材を毎年全社員に配布しています。その際は管理栄養士による食情報も一緒に提供しています。



りんごが持つ健康効果

- ポリフェノール⇒アンチエイジング効果
皮のまま食べるのが一番。
- ペクチン⇒腸内環境を整える
便秘にも下痢にも効果あり。
- クエン酸・リンゴ酸⇒疲労回復
ストレスへの抵抗力を高める。

「1日1個のりんごは医者のいらすい」



朝食

食生活習慣の支援

「身体に良いと分かっているけど、なかなか行動に移すのは難しい・・・」
そんな社員に会社が食材を用意し、食生活習慣を後押ししています。



運動習慣

バランスボール・ヨガ・健康太極拳講習

仕事・家事・育児・介護など自分のための体力づくりの時間がとりにくい社員もいますので、講師を招き、毎月勤務時間内で講習を受けています。



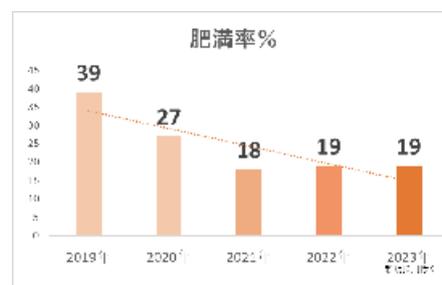
トレーニングルーム設置・スポーツジム法人契約

自分のタイミング、自分に合う運動ができるように社内のトレーニングルームを設置、また、社員が無料で使える社外のスポーツジムと契約しています。



社内ウォーキングイベント

年3回社内のウォーキングイベントを開催しています。運動習慣だけではなく、社員同士のコミュニケーション促進やチーム力向上にも繋がっています。



8020運動

よい歯の日・いい歯の日

歯を失う最も多い原因が歯周病であることから、4/18（よい歯の日）と11/8（いい歯の日）の年2回、歯周病予防の歯ブラシセットを配布しています。



日曜無料歯科健診

歯と口の健康週間に合わせ（6月4日～6月10日）毎年6月に希望者には歯の検診と治療を合わせた日曜無料歯科健診を行っています。

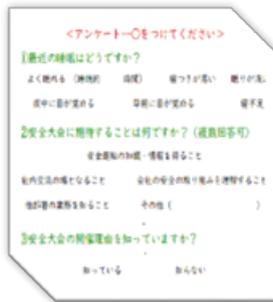




睡眠

睡眠不足は集中力低下を招き、事故に繋がるリスクが高くなります。
いち早く睡眠障害を把握し、睡眠の質を高める取り組みを実施しています。

毎月睡眠アンケート実施



快眠グッズプレゼント



ドライバーの睡眠課題解決のための
検証試験について

大橋運輸 × TENTIAL



メンタルヘルス

「仕事と人生を楽しく」をテーマに、メンタル不調の予防に力を入れています。
心身共に健康を目指す取り組みです。

趣味応援企画

プライベートの充実を目的として、社員の趣味や挑戦したいことを金銭面でサポート。



各種相談窓口

一人で悩まずに、相談できる窓口を社内、社外に設けて周知をしています。





採用力強化



ダイバーシティ



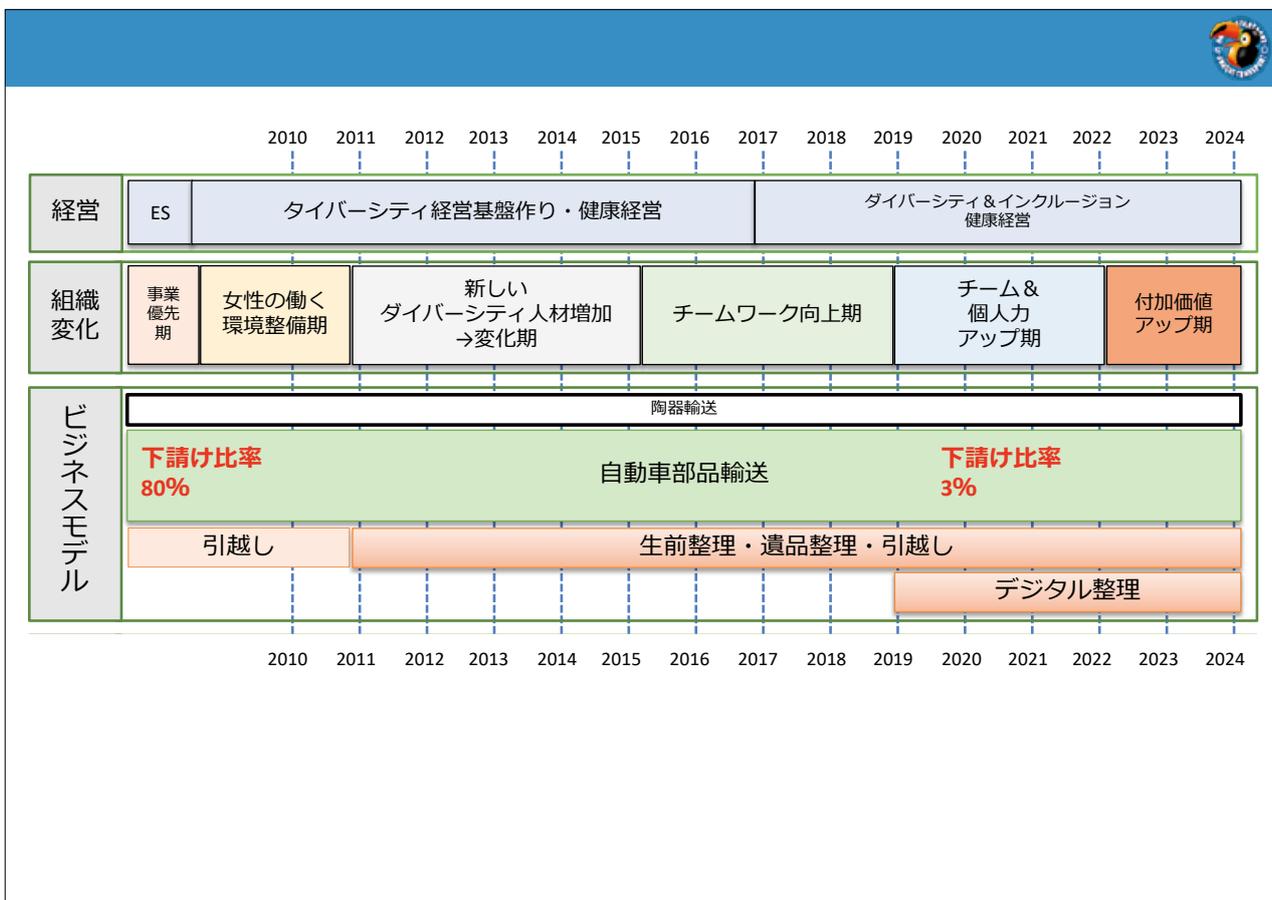
ES(社員満足向上)
福利厚生 成長支援
健康経営



ビジネスモデル



地域活動





採用力強化



ダイバーシティ



ES(社員満足向上)

福利厚生 成長支援
健康経営



ビジネスモデル



地域活動

43



地域活動の広がり

環境

- ・オオサンショウウオ保護の川清掃(2012年6月～)



安全

- ・幼稚園笑顔イベント(2017年2月～)
- ・小学校交通安全教室(2018年6月～)



福祉

- ・特殊詐欺なくし隊(2021年3月～)
- ・人生会議セミナー(2021年11月～)



健康

- ・地域セミナー(2016年6月～)
- ・おはなし広場(2020年11月～)
- ・運動教室(2021年8月～)



44



官民連携



地元ボランティア

瀬戸市環境
パートナーシップ
事業所認定



瀬戸警察署
幼稚園・学校

瀬戸警察署
特殊詐欺なくし隊委嘱



瀬戸市役所
瀬戸市社会福祉協議会



瀬戸市
企業アンバサダー
委嘱

瀬戸市社会福祉協議会
瀬戸警察署



瀬戸市社会福祉協議会
地域福祉
パートナーシップ
事業者認定

地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム
五つの柱が相互に連携しSDGsを推進していきま

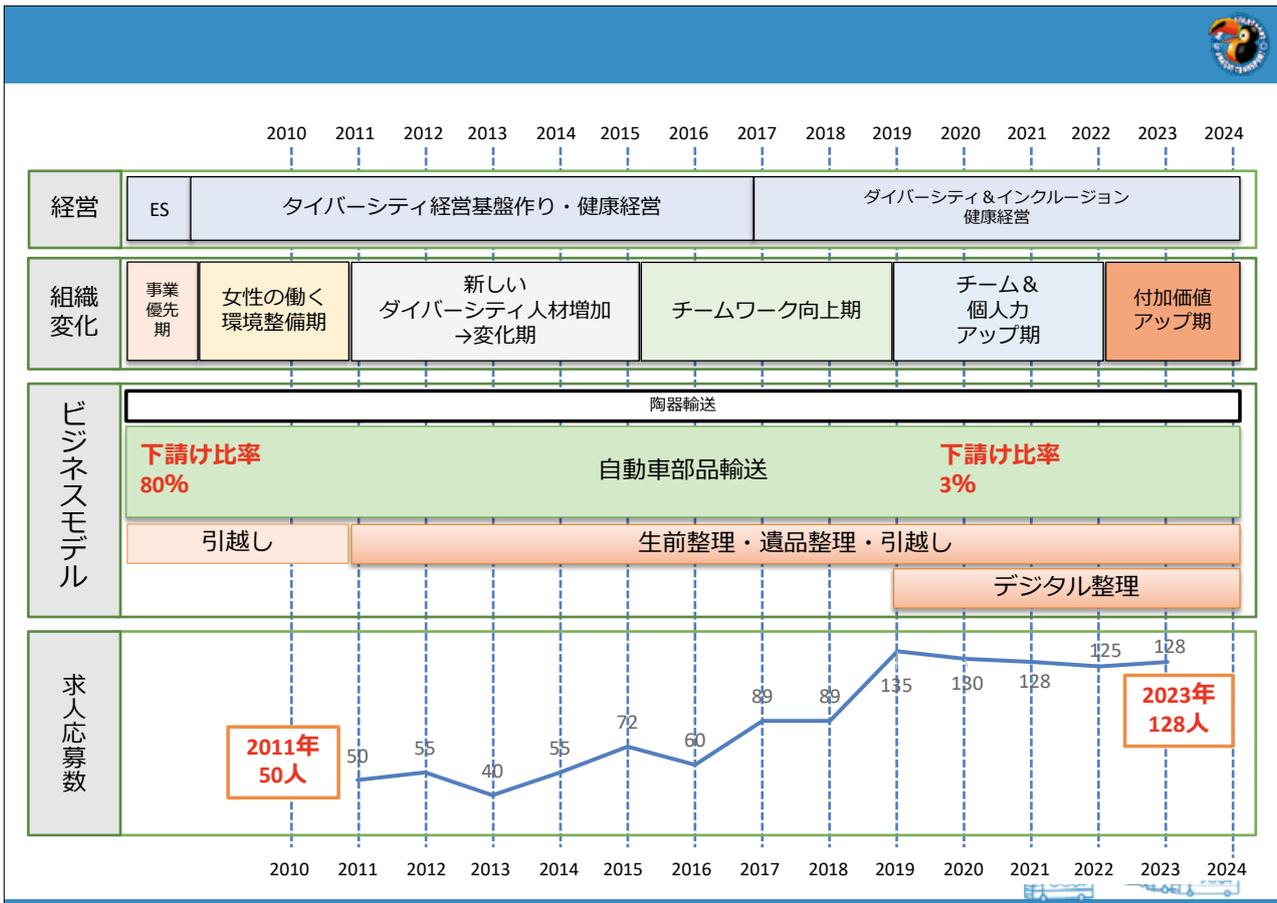


採用力

選ぶから選ばれる

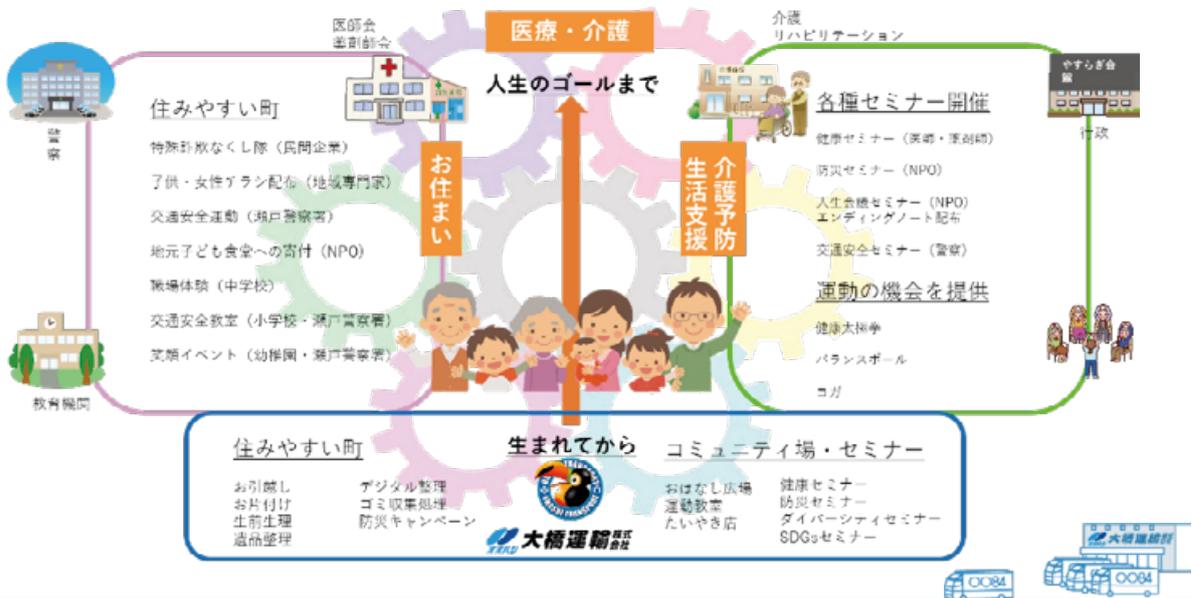
「仕事を楽しく」から、「仕事と人生を楽しく」





2025年問題・地域課題に挑戦

地域包括ケアシステム 瀬戸市モデル





私たちは地域課題に挑戦する。

We Tackle Regional issues.



49



・ダイバーシティ経営のポイント

・健康経営のポイント



50



女性活躍のポイント

★労働時間で評価しない
短時間でも管理できる仕事は多い



★新しい業務や管理の仕事を考える
健康経営・地域活動・採用・ES向上・ブランディング向上・新規事業（CSV）

★会議・委員会の女性割合
ファシリテーター



★管理職について
管理職の残業は当たり前ではない

★健康経営は余裕がある会社に取り組むのではなく、人的余裕がない会社ほど大切



ご清聴ありがとうございました



 **大橋運輸** 株式会社



SUSTAINABLE DEVELOPMENT **GOALS**



長崎通関業会通関士部会分科会 (通称：九州STARS) の活動開始

長崎通関業会は、令和6年10月18日（金）佐賀県鳥栖市サンメッセ鳥栖において今年の定期総会で承認された長崎通関業会通関士部会分科会（通称：九州STARS）の役員会を開催しました。九州STARSは現在29名が登録されており、会長、副会長その他各地区幹事8名の役員が出席し、令和6年度の活動内容を検討しました。その結果、今年は、webによるメンバーの初顔合わせ、非違防止の標語や九州STARSのロゴ・マスコットキャラクターの募集を行うこととなりました。

また、ダイバーシティへの取り組み等については、

経験豊富な方の話を聴いてみたい等の声があり、渡辺啓子氏（日本通関業連合会理事）に依頼することとなりました。

その他、長崎地区では他通関士部会の他港研修の受け入れの際、意見交換に同席して他港の通関業務の実情など知識の向上に努めることとなりました。

なお、役員会には通関士部会部会長、副部会長もオブザーバー参加しました。

今回は、令和7年2月に九州STARS総会を熊本市において開催予定であり、メンバー全員による初会合が楽しみです。



伊東会長の挨拶



役員会の様子



後列左から、五反田（事務局）、松岡（三池地区オブザーバー）、東（鹿児島地区幹事）、松尾（志布志地区幹事）、江東（長崎地区幹事）、荒木（三池地区幹事）、永尾（通関士部会部会長）、清水（通関士部会副部会長）前列左から、松永（副会長）、伊東（会長）、松本（副会長）

函館通関業会女性通関士委員会開催 (青森県八戸市)



(左から3番目遊佐副委員長、松倉委員長、森部会長、西出支署長、高木統括官、田畑幹事、小田副委員長)

令和6年10月16日(水)から17日(木)の2日間にわたり青森県八戸市において、第7回函館通関業会通関士部会女性通関士委員会及びダイバーシティ推進会議が開かれました。

この委員会は、他通関業会所属の通関士の参加も受け入れており、今回は横浜通関業会から1名、大阪通関業会から1名の参加があり、29名の通関士が集いました。

1日目は、参加者が4グループに分かれて討議・討論、次にグループごとの討議結果の発表、質疑・応答と、14時30分から約2時間半の有意義な委員会となりました。

2日目は、ダイバーシティに取り組んでいる「(株)アルバック東北工場」に赴き、ダイバーシティ取組状況等の説明会、ダイバーシティに関するヒアリング、工場見学を行いました。

初日の会議は、松倉女性通関士委員長、森通関士部会長の挨拶のあと、松倉委員長の司会のもと、会議は進みました。

本会は、これまで女性通関士委員会として開催してきましたが、本年度はダイバーシティに関して女性通関士の意見だけではなく、男性通関士の視線からも意見が聞きたいとの要望から、ダイバーシティ推進会議を同時開催し6名の男性通関士が出席し討議に参加しました。

会議は下記のテーマで4グループに分かれて討議を行いました。

テーマ1：ダイバーシティ推進部会活動に関する意見交換

- ・所属の店社のダイバーシティ推進活動について。
- ・職場のアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）に関する解決策等

テーマ2：職場における諸問題、通関業務上に起こった諸問題の解決策について

○最後に全体討論会が行われ、各グループの代表が討論内容の発表を行い、会議を締めくくりました。

このあと、西出八戸税関支署長による講演（働き方のあり方について）及び高木統括審査官による説明（八戸税関支署の概要等）があり大変好評でした。

恒例の意見交換会は、会場の八戸プラザホテル
プラザホールにおいて行われ、女性通関士、男性通
関士、税関等、参加者のいろいろな角度からの意見
が展開され、より深い意見交換をすることができ、
大変有意義な時間となりました。



ダイバーシティについて熱心に討議を行う通関士



討議結果を発表する女性通関士



働き方のあり方について講演される西出八戸税関支署長

2日目は八戸市の(株)アルバック東北工場に赴
き、工場見学及びダイバーシティ取組み状況等につ
いて説明を受けました。

当方からの質問にも懇切丁寧に対応していただき
ました。

※アルバックは「真空技術」をコア技術に、半
導体、電子部品、ディスプレイの製造工程の
一部を担う装置を開発・製造している企業。
東北工場の従業員数：306人 平均年齢：
47歳 同社HPから

今回の参加者からは、同業他社の方々及び男性通
関士と様々な観点から話しをすることができ、また、
ダイバーシティ推進企業のお話が聞けて有意義な時
間だったと多数の声がありました。

中でも、今まで当たり前と思っていたことも、何
か違和感があったら見直すように行動したいと思わ
れた方が多いようです。

職場の「アンコンシャスバイアス」参加者の方々
が、何か“気づき”を得た、そんな委員会となりま
した。



ダイバーシティ説明の質疑応答



クリーンルーム前での説明



(株)アルバック東北工場で参加通関士の記念撮影

女性通関士委員会副委員長

室蘭海陸通運(株) 小田紫帆

女性通関士委員会及びダイバーシティ推進会議にご参加の皆様、お疲れ様でした。

この度は、前委員長の今井様より副委員長に推薦していただいてから初めての会議となりましたが、無事に終わることが出来たことに安堵しております。

八戸市は私にとって初来訪となりますので会議への参加を大変楽しみにしておりました。住みやすそうな素敵な街で驚きました。ご当地のせんべい汁、とてもおいしかったです。もちろんお土産にせんべい汁用のせんべいを購入しました。

初めてこの会議に参加したのが2年前の小樽からでした。緊張で皆さんにうまくとけこめるか不安でしたが、同じような仕事をしていることもあり、すぐに意気投合して、楽しむことができました。2回目の函館では更にたくさんの方と打ち解けることができ、毎年参加することが楽しみになりました。

今回3回目の参加となり、今までは意見や発表をする側でしたが、副委員長に任命いただき、意見をまとめる側になりました。まだまだ未熟で知識も経験も至りませんが、皆さんのお話や意見を参考にさせていただき、今後活かしていきたいと思います。

また、2日目に参加させていただきました、株式会社アルバック様ですが、施設の清潔さ、働く環境の風通しの良さ、ダイバーシティの取り組み状況等、見習う参考にすべきところがたくさんありました。若手の離職率の低さ（3年以内5%）育児休業からの復職率（100%）働く環境の良さが数字に直結していると思います。

弊社も現在イノベーションプロジェクトというものがこの夏から発足いたしまして、各営業所、各部署から1名～2名選出し働きやすい環境づくりへ進んで取り組んでおります。次回会議の際には、進捗状況をご報告できると思います。

また皆様にお会いできる日を楽しみにしております。本当にありがとうございました。

密輸撲滅キャンペーン

東京通関業会

1. 本関地区

- (1) 日 時 令和6年10月16日(水)
08:00~08:25
- (2) 場 所 JR品川駅港南口
- (3) 参 加 者 (一社)日本通関業連合会、東京通関業会役員、通関士部会、本関及び大井通協会員:34名
東京税関監視部、業務部、大井出張所職員(カスタム君含む):12名
合計46名
- (4) 実施状況
本関地区においては、JR品川駅港南口において、

東京税関と(一社)日本通関業連合会の協力のもと、密輸撲滅キャンペーンを実施しました。

東京税関の宮本監視部次長、東京通関業会中村会長による激励の挨拶、キャンペーンスタートの掛け声を受け、腕章とタスキをかけた参加者が街頭活動を行い通勤客等に密輸撲滅・情報提供への理解と協力を呼び掛けました。

東京税関の制服職員に加えて人気の高いカスタム君が外国人旅行者からもかわいらしい仕草で注目を集めました。用意したキャンペーングッズ2,000セットは僅か25分で配布が完了するなど、盛大で手応えを感じるキャンペーンとなりました。



2. 成田地区

- (1) 日 時 令和6年10月17日(木)
08:15~09:10
- (2) 場 所 成田国際空港第2旅客ターミナル
地下1階 空港第2ビル駅 出札
口前コンコース
- (3) 参 加 者 東京通関業会成田支部(支部長、
通協幹事、事務局):16名
東京税関成田税関支署、成田航空
貨物出張所職員(カスタム君含む):
16名 合計32名

(4) 実施状況

東京通関業会成田支部は、成田税関支署及び成田航空貨物出張所と合同で、成田空港第2旅客ターミナル地下1階空港第2ビル駅出札口前コンコースにおいて10月17日(木)朝、密輸撲滅キャンペーンを実施しました。

東京税関から松田慎吾成田税関支署長、五十嵐浩二成田航空貨物出張所長をはじめ制服職員及び「カスタム君」、成田支部からは村越俊昭支部長、成田通関協議会委員が参加、総勢32名で空港駅を利用する旅行者や通勤客らに啓発グッズと税関提供のリーフレットを配布して、密輸防止と情報提供への協力を呼びかけました。



3. 羽田地区

- (1) 日 時 令和6年10月24日(金)
08:30~09:30

- (2) 場 所 羽田空港第3ターミナル 3F
アクセスホール
東京モノレール及び京浜急行 改
札前

(3) 参加者 東京通関業会羽田支部（支部長、幹事、東京通関業会事務局）：14名
東京税関羽田税関支署職員（カスタム君含む）：12名 合計26名

(4) 実施状況

東京通関業会羽田支部においては羽田空港税関支署のご協力を得て、羽田空港第3ターミナル3Fに

て密輸撲滅キャンペーンを実施致しました。東京税関からは高橋次長をはじめとする制服職員及び税関キャラクターのカスタムくん、東京通関業会からは西脇羽田支部長及び羽田支部幹事が参加し、総勢26名で海外へ出発される旅行客や通勤客らへキャンペーングッズと税関リーフレットを配布し、密輸防止と情報提供へのご協力を呼びかけました。



4. 新潟地区

東京税関新潟税関支署職員：8名

(1) 日時 令和6年10月31日（木）

合計20名

08：00～08：30

(4) 実施状況

(2) 場所 JR新潟駅南口

新潟地区においては本年6月に続きJR新潟駅において、新潟税関支署から福士支署長をはじめとする制服職員及びカスタム君、新潟通関協議会役員並

(3) 参加者 新潟通関協議会・通関士部会役員、会員：12名

びに通関士部会役員ほか多数の会員がキャンペーンに参加しました。

新潟の陸の玄関口として新潟駅万代方面も着々と工事が進んでおり、2026年の完成を心待ちにしながら今回も南口広場で実施致しました。腕章とタスキを掛けた各参加者がキャンペーングッズを携えて街頭活動を行い、新潟駅周辺を行き交う方々に密輸

撲滅・情報提供への理解と協力を呼びかけました。

カスタム君の参加により子供だけでなく様々な方々の注目を集め、当該活動への関心を持っていただく良いきっかけになったと思います。

用意したキャンペーングッズは30分足らずで配布が完了し、実りの秋を思わせる収穫あるキャンペーンであったと実感しています。



5. 原木地区

(1) 日 時 令和6年11月13日(水)

08:00~08:40

(2) 場 所 JR京葉線二俣新町駅前

(3) 参加者 東京通関業会東航通関協議会委員長、通協幹事、会員：13名

東京税関東京航空貨物出張所職員
(カスタム君を含む)：6名

計19名

(4) 実施状況

原木地区においては、JR京葉線二俣新町駅前において、東京航空貨物出張所から井上所長をはじめとする制服職員及びカスタム君、東京通関業会から橋崎理事をはじめとする東航通関協議会役員及び会員が参加してキャンペーンを実施しました。当日は

快晴でキャンペーン日和となりました。キャンペーングッズ500セットを駅の乗降客に手渡し、密輸撲滅の呼びかけを行いました。参加者からは、キャンペーングッズが新調され乗降客の評判が良かったとの声も聴かれました。



横浜通関業会

密輸撲滅キャンペーン（横浜地区・川崎地区・千葉地区）

横浜通関業会は、5月のキャンペーンに続き、横浜税関と合同で密輸撲滅キャンペーンを実施しました。

キャンペーンは、横浜地区（JR桜木町駅前）のほか、川崎地区（川崎マリエン）、千葉地区（JR千

葉駅前）において実施し、通関士部会委員、川崎分会委員、千葉分会委員のキャンペーンスタッフと横浜税関本関、川崎税関支署、千葉税関支署の税関職員の皆さんとともに、テロ対策への協力と密輸撲滅を呼び掛け、キャンペーングッズを駅利用者の一人ひとりに配布しました。

今回も横浜通関業会の公式キャラクター「タリフ & シンコック」をデザインしたウインドブレーカーを着用し、業会が行っている社会貢献への取組みを広くPRしてきています。

1. 横浜地区：

令和6年10月2日（水）08：00～09：00

JR桜木町駅前（広報グッズ配布数：3,000セット）



横浜地区キャンペーンスタッフ

2. 川崎地区：

令和6年10月12日（土）10：00～11：00

川崎マリエン 交流棟1階及び広場（広報グッズ配布数：500セット）



川崎地区キャンペーンスタッフ



クンくん、カスタム君、クアランと記念撮影

3. 千葉地区：

令和6年10月16日（水）08：15～09：00

千葉駅東口ロータリー（広報グッズ配布数：800セット）



千葉地区キャンペーンスタッフ

長崎通関業会

長崎通関業会では長崎税関及び関係取締機関と合同で年末特別警戒密輸防止合同キャンペーンを実施しました。各地の様子は以下のとおりです。

参加された皆様、寒い中ご協力ありがとうございました。

1. 長崎地区

令和6年12月9日（月）10：00～

長崎駅多目的広場 30名



2. 佐世保地区

四ヶ町アーケード 15名

令和6年12月5日（水）14：00～



3. 三池地区

ゆめタウン大牟田店 31名

令和6年12月4日(水) 15:00~



4. 八代地区

ゆめタウン八代店 26名

令和6年12月4日(水) 16:00~



沖縄通関業会

沖縄通関業会は、11月12日（火）に那覇市ぱれっと久茂地前広場において沖縄地区税関と合同で「密輸撲滅キャンペーン」を実施しました。

沖縄地区税関からは庄子沖縄地区税関長以下14名、沖縄通関業会からは、小山、新城副会長以下11社13名が参加しました。

当日は、おもったより涼しく、また、例年より人出が多く、用意したキャンペーングッズ600個は1

時間足らずで配布を終了することができました。

その間、庄子沖縄地区税関長は琉球朝日放送等マスコミの取材を受け、沖縄タイムス紙では、翌日、掲載されました。ちなみに今回の最多配付者は昨年

に続き、Iさんでした。

皆さん、大変大変ご苦労さまでした。
特に大人気のカスタム君は、去年に引き続き頑張ってくださいました。お疲れ様でした。



カスタム君の左隣、庄子沖縄地区税関長、右隣は小山沖縄通関業会副会長



安中市の紹介

概要

群馬県安中市は、関東地方の北部に位置する市であり、豊かな自然と長い歴史を持つ魅力的な地域です。市の面積は276.29平方キロメートルで、人口は約55,000人です。安中市は、温泉、産業、歴史的な遺産など、多岐にわたる魅力を持っています。

* 温泉マーク発祥の地

安中市には、日本の「温泉マーク」発祥の地として知られる磯部温泉があります。万治4年(1661)、付近の農民の土地争いに決着を付けるため評決文「上野国碓氷郡上磯部村と中野谷村就野論裁断之覚」が、江戸幕府から出されました。その添付図には磯部温泉を記した温泉記号が2つ描かれていたのです。専門家が調査した結果、この温泉記号は日本で使われた最古のものと判明。こうして磯部温泉は温泉記号発祥の地となりました。



* 磯部温泉

安中市の南西部に位置する磯部温泉は、天明3年(1783)の浅間山大噴火のときに湧出量を増したといわれています。泉質は、塩化物・炭酸水素塩強塩温泉で、湯中に含まれる成分が群馬県内の温泉の中でも1、2を競う素晴らしい湯と評価されています。入浴すると肌がツルツルすると、女性に人気があります。



* 日本マラソン発祥の地

安中藩主、板倉勝明侯は、安政2年(1855年)

藩士の心身鍛練の目的をもって、安中城内より中山道を西に碓氷峠の熊野権現まで7里余りを徒競争させ、その着順を記録させた。これを『安政遠足』という。その記録である「安中御城内御諸士御遠足着帳」と墨書された横長帳の古文書が昭和30年、碓氷峠の茶屋（あづまや曾根家）から発見された。運営記録には、走った96人の藩士の氏名・着時刻・着順などが克明に記されており、記録を競う遠足はこれが初めてであった。「日本最古のマラソン」として藩主の偉業を後世に伝えるため、安政遠足保存会を組織し復活したものである。現在では安政遠足



保存会と安中市が主催し、安中市観光機構、安中青年会議所、商工会、碓氷関所保存会など地元団体が大会運営を支えている。

* 新島襄ゆかりの地

安中市は、幕末から明治時代にかけて活躍した教育者であり、キリスト教伝道者である新島襄の故郷としても知られています。

新島襄は、1843年に安中藩士の子として江戸・神田に生まれました。21歳で渡米し、アメリカでキリスト教の洗礼を受けた後、帰国して安中に一時帰郷しました。彼はこの地でキリスト教を伝え、その後、同志社英学校（現在の同志社大学）を設立しました。新島襄の思想は、多くの文化人に影響を与え、安中市の文化にも大きな影響を与えました。

安中市には、新島襄の旧宅が保存されており、彼の業績をしのぶことができます。この旧宅は、彼が脱国から米国での苦学の経験を活かし、日本での活動を始める第一歩となった場所です。

安中市と学校法人同志社は、2023年7月17日、教育、文化、スポーツの振興・発展をはじめとして様々な分野で協力するため、地方創生に関する包括連携協定を締結しました。



* 生糸産業の歴史

安中市は、かつて生糸産業の拠点として日本を支えた地域でもあります。明治時代には、多くの製糸工場が立ち並び、日本の経済発展に大きく貢献しました。碓氷線は明治時代に開通し、主に生糸の輸送で重要な役割を果たしました。当時、日本の生糸産業は急速に発展しており、生糸は日本の主要な輸出

品の一つでした。長野県などの内陸部の蚕の生産地から繭を碓氷線で安中市まで運び、生糸に加工され、東京や横浜まで輸送されました。

現在でも、市内には日本最大の生産量を誇る製糸工場「碓氷製糸株式会社」があり、現場視察も受け入れており、隣接した世界遺産「富岡製糸場」とあわせて、当時の産業の歴史を知ることができます。



(東京通関業会前橋支部 株式会社ボルテックスセイグン 藤澤幸雄)



東京通関業会羽田支部と 長崎通関業会通関士部会との 意見交換会の開催

令和6年11月15日（金）東京通関業会羽田支部会員12名が他港研修にて当地区を訪れました。一行は長崎税関業務部鈴木管理課長の概況説明を受けた後、長崎税関管内の業務の特徴について積極的に質疑応答を行うなどメンバーの意識の高さが伺えました。

その後、当通関士部会との意見交換会を行いました。西脇支部長のお人柄からかもし出す和やかな雰

囲気の中で予定の時間をオーバーするほどの情報交換となりました。特に今回の意見交換会には*九州STARSの長崎地区メンバーも参加し、他通関業会の通関状況等ヒアリングできる貴重な機会となりました。

*九州STARSは長崎通関業会通関士部会に設置された女性通関士や通関業務従事者を中心とした組織で今秋設立された組織です。



2024年度通関士試験突破研修

第58回 通関士試験 合格体験記

(一社)日本通関業連合会・研修事務局

第58回通関士試験に合格された皆様、おめでとうございます。

今年度、当連合会の通関士試験突破研修を受講者から20名以上の通関士試験合格者が誕生しました。

通関士試験合格に臨む心構えや、周囲の協力、勉強時間の確保、勉強方法やモチベーションの維持方法など、合格された皆さんそれぞれの努力や苦労があったものと思います。ここではそんな合格者から寄せられた合格体験記を紹介します。

今後、「通関士試験」合格を目指す方に是非とも参考にしていただきたい体験記です。

なお各合格体験記の表題・副題は連合会研修事務局が付記したものです。



忍耐強く取り組んだ5か月
～仕事の後に勉強する癖を定着～

株式会社丸山運送 大槻 祐太 様

私は普段、輸出入に関わる業務を担当しております。その中でも通関士を志したのは通業務の幅を広げたいのももちろん、通関士という資格はこの業界で働いて得た知識を目に見える形で証明できる資格であるためです。ちょうど決断したタイミングで通関業連合会のオンライン講座の案内メールがあり、受講することを決めました。

学習の流れですが、使用したテキストは通関業連合会のテキストと市販の計算問題テキストです。正直なところ5月のGWまではほとんど勉強の癖が定着せずあまり勉強に熱が入っていませんでした。そのため、まず簡単な範囲から触れてみようと考え通関士試験突破研修のテキストのうち通関業法から

始めました。通関業法は他の科目より範囲が少なく、常識的に分かる内容も多く簡単のため、この範囲を勉強している間に仕事の後に勉強する癖を定着させました。通関業法と関税法は暗記すればよいので突破研修のテキストを何周も読み、難しい部分は書くことを繰り返し、試験1か月前からひたすら過去問や演習問題を解きました。通関実務は普段の業務に触れる部分も多くありましたが、計算問題や品目分類は対策をしないと厳しいため、計算問題はとにかく数をこなす、品目分類はノートに代表的な例を書きながら覚えていきました。

勉強時間は科目ごとに分けスマホで毎日計測し科目ごとに差が出ないようにバランスよく勉強をしました。5月の半ばから本格的な勉強を始めたため、より集中するために仕事の後は家に帰らずにカフェに籠り平日は仕事後3時間、休日は4～9時間勉強とかなり詰め込んだ苦しい5か月でした。範囲が広く、法律の言い回しが難しいため、通関士を志す方は余裕を持って勉強することをおすすめします。今回無

事1発で合格できたのは、勉強する癖をつけることを意識できたからだと考えております。難しい試験だからこそ来年に持ち越したくない気持ちがあったので忍耐強く取り組んで合格できたのは自分の自信にも繋がりました。

今後は通関士として本格的に申告にも携わりますので、初心に返り日々研鑽していきたいと考えております。通関業連合会の研修が勉強に熱を入れるきっかけとなりました。本当にありがとうございました。

**継続することの大切さ
～自分にあった学習方法で～**

伏木海陸運送株式会社 通関課 永井 悠介 様

私が通関士試験を受けてみようと思ったきっかけは、自身が以前から貿易関連の業務に携わっており、キャリアアップの一環として通関士資格を取得したいと思ったことと、この資格があれば、より専門的な知識を持って業務に携われるだけでなく、会社内外での信頼性も向上すると思い通関士試験へ挑戦しよう決めました。

やるからには合格しようと意気込んでテキストを読み始めましたが、何が書いてあるのか、この文言はどこまでのことを指しているのかなど、法律の言い回しが難しく読むだけでは理解することが困難でさっそく挫折しそうになりました。日本通関業連合会様はテキストだけでなくスクーリングがあり、その講義動画を通勤時や昼休みといった隙間時間にひたすら聞き流しを行いました。聞き流しを続けていると、全体をやんわりと理解することができ自分にはこの勉強法が合っていると感じました。それでも、通関業法や関税法は膨大な条文を覚える必要があり、最初はどこを重点的に理解していくべきかわかりませんでした。

私は1科目免除ということもあり、7月から勉強を始めました。勉強スケジュールとしては最初の1～2か月は講義動画とテキストを読み込んで、通関業法、関税法、関税定率法など、各分野の基本的な知識の習得を目指し、残りの1か月はひたすら模擬試験と過去問を行いました。過去問や模擬試験に関しては、本番同様の時間配分とし、自分が解き終わるのにどれだけ時間がかかるか、見直しの時間はあるか、途中で息抜きする時間はあるかなど、問題以外についても確認しながら取り組みました。そのおかげで、実際の試験の際も焦ることなく、しっかりと問題と向き合えることができました。

最後に、日本通関業連合会の講師の皆様、職場の皆様からの暖かいサポートがあったからこそ、途中で挫折することもなく、この結果を得ることができたと感じております。特に、模擬試験と過去問を活用することと、自分にあった勉強法を見つけるのが重要です。また、分からないことをそのままにせず、必ず解決する姿勢を持つことが大切だと思います。勉強は大変ですが、合格したときの達成感は格別です。皆さんの成功を心から応援しています。

**取れる問題を確実に
～通関実務はコツをつかむ～**

株式会社上組 人事部 藤野 翔彩 様

私は今年の4月に弊社に入社し、勉強と仕事を両立させながら試験に挑みました。殆ど通関に対する知識がない中での挑戦となりましたが、日本通関業連合会のテキストや非常に充実した講座のカリキュラムのおかげで無事合格することができました。

私は4月から10月の6か月間で勉強のスケジュールを立て、必ず毎日行いました。社会人になったばかりで、慣れない状況の中、仕事と勉強の両立は難しい部分がありましたが、朝の通勤時間や昼休

憩などを活用し、試験に間に合うように進めていきました。

通関業法、関税法、通関実務の中で、一番難しい通関実務は、特に輸出入申告書の問題が難しく、最初のうちはなかなか点数を取ることができませんでした。しかし、講座を通じて、解き方のコツや傾向を丁寧に教えていただいた結果、9月の直前模試ではすべて正解することができ、自信ができました。輸出入申告問題で高得点を獲得するには、問題の量をこなすのではなく、解き方のコツをつかむことが大切だと考えます。

通関業法と関税法は問題集を中心に学習を進めました。ひたすら問題を解き、間違っただ箇所を解答・解説を通じて、人に説明することができるまでに理解することで完全に定着させることができました。また、講師の方々にきめ細かく教えていただいた今年からの変更箇所が、本試験でも出題され、点数を取ることができました。逆に通関業法と関税法では、問題の量をこなし、知識を増やすことが大切だと考えます。

通関士試験では6割以上を取得すればいいので、とれる問題を確実にとり、とりこぼさないことが大切です。そのためには、たくさん問題を解き、間違っただ箇所を人に説明することができるまでに理解することが重要なポイントだと考えます。

最後に、この度合格できたのは日本通関業連合会の講師の方々、また社内の方々等、ご支援いただいた多くの皆様のお陰とっております。この場をお借りして感謝申し上げます。

これから受験される皆様の合格を心よりお祈りしております。

学習環境を整え、計画的に試験を突破
～9月はひたすら過去問、問題集を繰り返し学習～

東海運株式会社 九州事業部北九州船舶部八幡営業所
掛橋 康裕 様

私は海貨や船舶に携わる業務に就いており、通関士の資格自体は認識しておりました。この度、会社の案内で当講座を知り、知識を深めるために受講することにしました。申し込み後、手違いがあり、教材が手元に届いたのは4月の後半ぐらいになったことで、学習期間の上でやや遅れをとってしまい、焦った気持ちを持ったことを覚えています。振り返れば、これが、試験日まで学習するにあたってよい緊張感を持って臨んでいたのではないかと感じています。学習環境については学校卒業以来、学習机とイスの無い自宅となっていましたので、本気で学習し合格するためには惜しく無い出費と考えて机、イス一式を買い揃えました。学習時間について平日は仕事後に会社の事務所か自宅で数十分～3時間程、休日は5時間前後しました。また、通勤や移動の際にはテキストの読み返しや、自作した品目分類表を片手にぶつぶつ唱えて暗記する時間に充てていました。学習の進行にあたり、特に計画はしていなかったので、教材順に着手していきました。(通関業法→関税法→関税定率法・関税暫定法等)

7月中旬頃には通関実務以外のテキストは一通り読み終えることができ、1回目の模試に臨みましたが、実務はしょうがないにしても、学習した2教科についても合格には程遠い状態でありました。その時に、テキストをなぞるだけでは効果が薄いと感じ、同時に問題集や過去問をやり、間違っただところは何故そうなるかを解答集やテキストを使い深く理解に努めるようにしました。インプット・アウトプットを繰り返すことでより知識の定着が図れたのではないかと感じています。通関業や関税法等についてはとにかくテキストを読み進めれば解答の根拠となる

条文があるので、学習すれば学習するほど感覚的に、または直感的に正しい解答を導き出すことが出来るようになりました。しかし、実務の課税評価や品目分類についてはテキストだけでは十分に理解することができなかったので、スクーリングを活用し、解答を導き出す論理的考え方や過程について入念に学習をしました。それでも理解できない箇所は当講座の講師の方や所属する会社の通関を担当する方に何度も質問をしました。質問をする時は、わからないところを言語化するので、一層の理解が深まったことを覚えています。8月後半には一通りのテキストを終えて、臨んだ2回目の模試では1回目より手応えはありましたが、まだ合格基準には達することができておらず、なおかつ時間内に問題を終えることもできていませんでした。9月はひたすら過去問、問題集を繰り返し学習し、間違った箇所はテキストを読み返す様にして、週末は本番を想定し過去の試験や模試を解いていきました。問題集は常に持ち歩き、隙間時間があればランダムに開いたページを解き、学習時間に充てていました。次第に正答率や解答スピードがあがっていき、試験前には合格基準に達するようになっていきました。振り返れば、この期間が精神的にもキツく不安な時期でもありましたが、急激に力が付いてきていると実感できる時期でもありました。

試験本番当日は電卓を忘れてしまい、近辺のコンビニは売り切れ状態になっていた為、遠くの百円ショップで1,000円の電卓を買うことになりましたが、学習した成果を発揮することができ、今回初めて挑んだ試験にて合格することができました。

最後になりますが、通関士試験は合格率が低い難関試験と言われますが、当講座のスクーリングや、豊富な教材、講師の方への質問を活用し、やり切ることで合格する力が身に付くものと実感しています。この度は、通関士試験合格の為に、ご指導頂き、深く感謝申し上げますとともに、これから受験される皆様の合格を心よりご祈願いたします。

仕事と勉強の両立に苦勞

～学習計画と習慣作りで合格を勝ち取る～

敦賀海陸運輸株式会社 国際物流部通関課

長友 楓也 様

私は2023年に現在の会社に入社し、通関業務を行う部署に配属されました。入社1年目は受験を見送り、今年第58回1回目の受験で合格致しました。

受験するにあたり、弊社の先輩通関士の方たちに教材・勉強方法等のアドバイスを参考に計画を立てました。

私は追い込まれないとスイッチが入らないタイプで、6月下旬から本格的に学習を始めました。先輩方からはとにかく過去問をまわす、ということを知っていたので、7月は何の知識もない中で5、6年分の過去問を3周程まわすという学習をしていました。その中で理解が難しい問題に当たれば、テキストを教科書替わりに使用し知識を深めました。この時期のおかげで、問題を解くコツのようなものをつかめたのではないかと思います。7月は1日、1時間30分ほど学習に時間を使ったと思います。

8月からは模擬試験を解くことで、実践的な練習をしました。実際の受験スケジュールで模擬試験を解いたりもしました。本研修の模擬試験は非常に内容が濃く、細かい法令の書かれ方まで踏み込んだ問題も多数あったため、より知識が深まったという実感がすごくあります。一度解いた模試も繰り返し解きなおし、3回分の模試を3周程まわしました。これくらいの時期で、ようやく自分の苦手分野がはっきりと理解でき、重点的に復習に取り組みました。

私は9月頃まで、一切本研修の講義を使用しませんでした。あくまで私の持論ですが、試験の内容や全容を理解した後で、講義を受講した方が深い知識の習得ができると思っていたためです。受験間近の振り返りとして、講義を受講させて頂きましたが、頭の整理が出来、忘れていた分野の復習も出来たの

で、すごく助けられました。

平日は働きながらの勉強になったので、仕事と勉強の両立に初めはすごく苦労しました。私はどんなに時間が無くても、少しは机に向かうという時間を無理やり作ることで、勉強の習慣ができたと思います。6月下旬からの学習時間は平均して一日2時間程度だったと思います。3か月を振り返り、もう少

し時間があったらと思うことが多々あったので、もっと期間を設けて勉強すればよかったなと思いました。

最後に、合格できたのは日本通関業連合会の皆様、また社内・家族の方々のお陰だと思っています。この場をお借りして感謝申し上げます。これから受験される皆様の合格を心より祈念致します。

各通関業会業務報告

東京

- 10月8日 日本通関業連合会主催「通関業の日」記念行事
- 9日 通関士部会ダイバーシティ推進分科会主催WEBセミナー【ダイバーシティマネジメントについて】
- 11日 通関士部会委員会
// 第18回密輸・密入国及びテロ等防止講習会
- 16日 密輸撲滅キャンペーン（品川駅）
- 17日 密輸撲滅キャンペーン（成田空港）
// 大井通協女性連絡会
- 24日～25日 全国会長・理事長と日本通関業連合会役員との拡大会議（下関）
- 24日 密輸撲滅キャンペーン（羽田空港）
// 本関通関協議会
// 本関通協HS女性部会
- 31日 密輸撲滅キャンペーン（新潟駅）
// 大井通関協議会
// ダイバーシティ通関士部会及びWT事務打合せ
- 11月7日～8日 連合会通関士部会・事務局合同会議
- 11日～15日 令和6年下期通関業務従業者研修
- 13日 密輸撲滅キャンペーン（二俣新町駅）
// 本関通協HS女性部会
- 20日 本関通関協議会
// 成田通関協議会
- 21日 通関営業所責任者講習会
// 大井通協女性連絡会
- 26日 大井通関協議会
- 27日 大井通協女性連絡会主催『AI（ChatGPT）

セミナー』

- 28日 税関功績者表彰式

横浜

- 10月2日 密輸撲滅キャンペーン（横浜地区）
- 7日～11日 第106回通関従業者業務研修会
- 12日 密輸撲滅キャンペーン（川崎地区）
- 15日 本関地区通関協議会
- 16日 密輸撲滅キャンペーン（千葉地区）
// 宇都宮地区通関協議会
// 千葉地区通関協議会
- 17日 川崎地区通関協議会
- 21日 第106回通関従業者業務研修会 成績優秀者昼食懇談会
// 宮城地区通関協議会
- 22日 本牧地区通関協議会
- 24日 大黒地区通関協議会
- 24日～25日 全国会長・理事長と日本通関業連合会役員との拡大会議（下関）
- 29日 通関士部会委員会
// 通関手続等検討会
- 11月6日 ダイバーシティ推進委員企業訪問（(株)ダイトコーポレーション）
- 7日～8日 日本通関業連合会通関士部会・事務局合同会議
- 8日 役員研修会
- 12日 本関地区通関協議会
- 13日 宇都宮地区通関協議会
- 20日 千葉地区通関協議会
// 本牧地区通関協議会
- 21日 大黒地区通関協議会

- 21日 川崎地区通関協議会
- 26日 宮城地区通関協議会
- 28日 税関記念日税関業績者表彰式・横浜通関業会表彰式

神戸

- 10月10日 通関士部会 総務委員会
- 12日 新居浜地区密輸キャンペーン
- 16日 神戸税関通関業監督官によるセミナー
(対面及びWEB)
- 21日 令和6年度第2回理事会
- // 神戸税関幹部との意見交換会
- 22日 通関時報10月号発行
- 24日 通関士部会役員会
- 24日~25日 全国会長・理事長と日本通関業連合会
役員との拡大会議(下関)
- 26日 今治地区密輸キャンペーン
- 29日 境地区通関士との意見交換会
- 11月5日 浜田地区との意見交換会
- 7日~8日 日本通関業連合会通関士部会・事務局
合同会議
- 11日 姫路地区との意見交換会
- 13日 海貨通関業者向けシステム「Forwarder-
PRO」「eBASE」の紹介
- 14日 福山・尾道地区との意見交換会(WEB)
- // 高知地区密輸キャンペーン
- // 通関士部会 総務委員会
- 18日~27日 通関従業者研修(WEB)
- 19日 松山・今治地区との意見交換会
- 20日 坂出・高松地区との意見交換会
- 21日 小松島地区意見交換会
- 22日 新居浜・三島地区との意見交換会(WEB)
- // 通関時報12月号発行
- 25日 水島・宇野地区との意見交換会
- 26日 広島・呉地区との意見交換会
- 29日 港和会との意見交換会
- // 通関士部会 役員会

大阪

- 10月9日 通関士部会 京滋地区協議会
- 13日 密輸撲滅キャンペーン
(港区民祭り(大阪市港区))
- 16日 通関士部会 総務委員会
- // 通関士部会 業務委員会
- // 通関士部会 役員会
- // 通関士部会 税関業務担当者との連絡会
- 17日 通関士部会 堺地区協議会
- 20日 密輸撲滅・薬物乱用防止合同キャンペーン
(海遊館前広場(大阪市港区))
- 23日 通関事務連絡会
- 24日~25日 全国会長・理事長と日本通関業連合会
役員との拡大会議(下関)
- 30日 原産地規則ワンポイント研修「第1回
原産地規則の基礎」
- 11月7日~8日 日本通関業連合会通関士部会・事務局
合同会議
- 12日 通関士部会 北陸地区協議会
- 14日 通関業セミナー「安全保障貿易管理」
- // 通関業セミナー「NACCS外為法関連
業務」
- 20日 通関士部会 総務委員会
- // 通関士部会 業務委員会
- // 通関士部会 役員会
- // 通関士部会 税関業務担当者との連絡会
- 21日 原産地規則ワンポイント研修「第2回
原産地規則の輸入編」
- 26日 内部監査担当者セミナー
- 27日 通関事務連絡会

名古屋

- 10月2日 理事会・一水会(理事・監事)
- // 四日市支部関税評価実務研修
- 8日 本関通関事務研究会
- // 「通関業の日」記念日行事(連合会)
- 9日 輸出入商品分類研修A

- 関税協会門司支部と共催
28日 会員周知「NACCS関連資料」の送付
 // 門司通関士部会関門支部下関地区会議

長 崎

- 10月11日** 通関非違事例 (R6.7~9) の配信
17日 長崎地区通関業務講習会の開催案内
18日 長崎通関業会通関士部会役員会の開催
 // 九州STARS役員会の開催
24日~25日 全国会長・理事長と日本通関業連合会
 役員との拡大会議 (下関)
11月1日 知財取締強化期間の周知
7日~8日 日本通関業連合会通関士部会・事務局
 合同会議
13日 九州STARS web会議の開催
 // 佐世保地区通関業務講習会の開催案内
15日 東京通関業会羽田支部との意見交換
18日 長崎地区通関業務講習会の開催
19日 通関事務連絡協議会長崎地区の開催
27日 年末特別警戒への協力依頼の案内
28日 NACCS通信 (23) の配信

函 館

- 10月7日** ヒアリ類に係る対処指針の周知について
8日 通関業の日の記事送付について
9日 安全保障貿易管理・技術情報管理説明
 会の開催について
13日~14日 通関士部会女性通関士委員会・ダイバー
 シティ推進会議開催 (八戸市)

- 21日** 安全保障貿易管理・技術情報管理説明
 会 (札幌市)
22日 函館通関業会通関士部会研修会の開催
 案内
24日 税関関係3団体共催幹部セミナー (函
 館市)
29日 通関業務連絡会 (主要支署・出張所)
11月5日 新任通関士及び通関業務従業者講習会
 の開催について
7日~8日 日本通関業連合会通関士部会・事務局
 合同会議
21日 通関士部会研修会開催 (函館市)
25日 通関業務連絡会 (主要支署・出張所)
28日 税関記念日 税関長表彰受賞者との意
 見交換会
29日 通関士試験結果について

沖 縄

- 10月11日** 第1回ダイバーシティ推進会議
15日 会員周知「NACCS関連資料」の送付
24日~25日 全国会長・理事長と日本通関業連合会
 役員との拡大会議 (下関)
31日 第3回通関連絡会 沖縄地区税関から
 の指示伝達事項を会員に配付
11月7日~8日 日本通関業連合会通関士部会・事務局
 合同会議
9日~10日 通関士部会・事務局合同会議 (東京)
12日 2024年密輸撲滅キャンペーン実施
22日 第2回ダイバーシティ推進会議

通関士試験突破研修

受付期間：2025年2月3日から2025年4月14日まで



充実の
スクーリング

40時間超えの講義
Web配信



好評の教材

年度改正対応の最新版
試験問題を網羅した充実の教
材（3科目選択時：8部）



3回の
模擬試験

出題傾向を熟知した講師が作
成。在宅受検。
通関実務科目は解答・解説ビ
デオも配信



スキマ時間を
有効活用

スクーリングは何度でも視聴可
能
テキストも持ち歩かずにWebで
閲覧可能



自由で
リーズナブル

受講料：追加料金なし(税込)
1科目 22,000円
2科目 33,000円
3科目 44,000円

目指すあなたを後押しします

さらに詳しく知りたい方、受講の申し込みはこちらから

<https://www.tsukangyo.or.jp/pages/160/>

(一社) 日本通関業連合会 研修事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8階
E-mail: kensyu@tsukangyo.or.jp TEL: 03-6206-1086



JASTPROコード (日本輸出入者標準コード)

登



貿易手続デジタル化を促進し40年

本コードの 重要性と普及 のお願い

JASTPROコードは通関業界
の「共用データベース」、
情報資産です！

JASTPROコードは、税関への電子申告導入に備えて開発され、1983年の発給開始から、延べ20万件の登録をいただいています。JASTPROコードは、NACCSをはじめ各種手続システムに組み込まれています。

JASTPROコードは、貿易手続デジタル化の礎であり、今や輸出入申告のほぼ100%がNACCS申告となりましたが、先行・後続の各種手続に拡大していくためには、今後もJASTPROコードの普及拡大が必要です。

コード普及には、通関業者の皆様のご協力が不可欠であり、今後ともご協力をお願いいたします。

申告業務 効率化に貢献

物流業界の人手不足が深刻化するなか、通関件数は輸入だけで2億件に迫る勢いです！

IDA・EDAで法人番号を入力すると、輸出入者名・住所・電話番号が自動的に入力されますが、実はこの便利な機能の裏では、JASTPROコードが働いています。

JASTPROコードの登録情報は、弊協会が登録時の審査、定期的な更新で正確性を保っています。

JASTPROコードは、IDA・EDAでの入力ミスや表記のバラつきを防ぎ、通関業務の効率化と税関申告の「非違の削減」に貢献しています。

輸出入者数も急増している今、一社でも多くの荷主様に、コードを登録いただくことが、通関業務の効率化、省力化につながります。

お問い合わせは [こちらから](#)▼

コードに関する お問い合わせ

<https://www.jastpro.org/pages/63/>



JASTPROホームページ



JAST
PRO

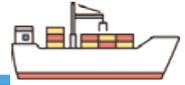
録

推

奨

のお願い

荷主様への推奨ポイントは？



貿易手続 に特化した 企業ID

JASTPROコードは
NACCSの電子申告を支えています！

JASTPROコードは、貿易手続での利用に特化した企業IDです。
JASTPROコードには、貿易書類作成や手続に必要な法人番号、英文社名・住所、電話番号などが紐づけられており、主要な貿易手続システムに組み込まれています。

JASTPROコードをご利用いただくと、手続が自動化され、ヒューマンエラーによる手続の遅れがなくなります。
貿易企業が取得する企業IDとして、貿易関係業界では広く認識されており、KYC情報として海外送金の審査などにもご活用いただいております。

簡単登録で スムーズ 通関！

JASTPROコードは、
お申込みから最短3営業日後
よりNACCSでご利用いただけます！

JASTPROコードの登録のお申込みは、
添付資料として「商業・法人登記情報」および
申込者様の本人確認資料をご用意いただければ、
パソコンやスマホから365日・24時間可能です！

登録手続にお困りの場合は、「ヘルプスタッフ」が
サポートいたします。
詳しい手続については、ホームページでご案内
しております。

一般財団法人
日本貿易関係手続簡易化協会

お手続は [こちらから](#)▼

JASTPRO 各種手続

<https://www.jastpro.org/pages/265/>





発行所：一般社団法人 日本通関業連合会

東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8階
TEL: 03-3508-2535 FAX: 03-3508-7796
E-mail: jcba@tsukangyo.or.jp
URL: <https://www.tsukangyo.or.jp/>



編集兼発行人：片 田 徹

※本会報からの転載については、あらかじめご連絡下さい。